

たのしく学ぶ



イラスト・たんぽは二朗

人の心をつかむ才能で天下統一を達成

安土桃山時代の戦国武将、豊臣秀吉は人の心をつかむのが得意な「人たらし」だったといわれています。少年時代からさまざまな仕事を経験したことから、まわりとの人間関係をうまくつくれたのかも知れません。20歳になる前に尾張(愛知県)

織田信長につかえて目をかけられ、やがて長浜(滋賀県)の城主に取り立てられました。出世できたのは「人たらし」だけが理由ではありません。積極的に織田家のために働き、たとえば越前(福井県)での戦いで信長が朝倉氏と浅井氏にはさ

みうぎにされようになると敵を食い止めた信長を逃がしました。こうした行動の数々が評価されたのです。

ところが天下統一を目前にした信長は、家臣の明智光秀の軍勢に突然おそわれて京都で命を落しました。1582年6月

この手で光秀をたおす。秀吉は敵にもれないように信長の死をひたかくし、毛利側により条件を示して戦いを切り上げると、すぐさま京都をめざしました。本能寺の変から約10日後、京都郊外の山崎で光秀と戦い、打ちやぶりました。毛利側と話をまとめ、京都に向かうべきだと進言したのは、秀吉の軍師といわれた黒田官兵衛だと伝えられています。中国地方にいるはずの秀吉が軍勢を率い、こんなにもはやく目の前にあらわれるとは光秀も想定していなかったにちがいない。

かたきをうつた秀吉は織田家でいちばんの重臣になると、ライバルの柴田勝家を賤ヶ岳の戦い(滋賀県)でたおし、信長の後継者の座に、巨大な大阪城の建設にとりかかり、信長にかわって天下統一の事業にも着手しました。1585年に朝廷から関白という最高の役職をあたえられ、その次の年には豊臣の姓をもらって太政大臣になり、豊臣政権を打ち立てました。

秀吉にとって気がかりだったのは東海地方を中心に五つの国を支配する徳川家康の存在でした。秀吉は家臣にしようとしたたび使いを送りましたが、家康

は警戒して秀吉のもとを訪れようとしませんでした。そこで自身の妹の朝日姫との結婚をすすめ、家康のもとに送り出しました。結婚という名目で妹を「人質」として徳川家に差し出したのです。それでも家康の態度がかわらなかつたことから、今度は70歳をこえる母親の太政所を家康のもとに送りました。

家康は秀吉の本気に心をゆさぶられ、重い腰をあげて大阪へ向かい、秀吉の家臣になることを誓いました。「人たらし」の秀吉は真心を示すことで、戦うことなく最大のライバルをしたがえたのです。

秀吉はその後、九州を平定。1590年には大軍を率いて関東地方を攻めて北条氏をほろぼし、東北地方もしたがえ、全国統一をなしました。



秀吉とみられる等身大の木像＝大阪市の大宮神社 ©朝日新聞社

河合敦先生の

日本の織りなす人物

豊臣秀吉

1537年 尾張(愛知県)で生まれる。

1582年 明智光秀を山崎の戦いでたおす。

1590年 天下統一をなしとげる。

1598年 京都の伏見城で亡くなる。

たおす ← 豊臣秀吉 → つかえる

明智光秀 ← 豊臣秀吉 → 織田信長

むほん

かわい・あつし
歴史作家。都立中高一貫校や私立中高の教諭を経て、多摩大学客員教授。多くの日本の歴史の本を書くかわら、NHK「歴史探偵」などのテレビ出演や講演活動もおこなう。

朝日小学生新聞
デジタル for School

NEWリリース!
自治体・教育関係者のみなさまへ

情報活用能力、言語能力を育む
ICT教育を加速する
クラウド型サービス

朝日小学生新聞 朝日中高生新聞
デジタル for School

- GIGAスクール、ICT教育を後押し
- わかりやすいニュース
- いつでも・誰でも・どこでも読める
- データベースから記事検索
- 時事ワークシート付き
- 一斉学習、個別学習、協働学習に対応
- 調べ学習、探究学習に最適

お問い合わせ 朝日小学生新聞社デジタルコンテンツ部
メール digital@asagaku.co.jp 電話 03-3545-2390 (土日祝除く、午前10時~午後5時)
資料請求、無料体験を受付中。詳細はサービスサイトをご覧ください
在宅勤務体制の為、サービスサイトのお問い合わせフォーム、メールのご連絡がスムーズです